けやきっ子

四日市市立羽津北小学校
令和２年１０月２０日発行
No. １４
文責：校長　植松　佳子

楽しかったね！！自然教室

「コロナに負けず一人ひとりが協力し合い、ルールを守って楽しくけがのない自然教室にしよう」の目標のもと、１０月１４日（水）15 日（木）に５年生が自然教室に行ってきました。

二日間とも快晴の中、５年生 74 人が全員そろって参加し、無事に帰ってくることができました。

自然教室に向けて保護者の皆様には健康管理や持ち物の準備等大変お世話になりました。ありがとうございます。

二日間の活動を通して、子どもたちは様々な経験をしました。

御在所岳登山、キャンプファイヤー、カヤック、薪を使った野外炊事など、多くの子たちが初めての経験でした。その中で、豊かな大自然を心と体で感じ取ったり、友だちと励ましあい協力しあうことの大切さを改めて実感したりと、貴重な体験がいっぱいできたのではないかと思います。

今回の経験を、今後の成長に生かしていってほしいと思います。

鎖場のところでは山岳警備隊の皆さんが見守ってくださいました。

水面がキラキラ輝いていました

火を囲んで幻想的な瞬間です。

火おこしに悪戦苦闘しました。

※　羽津北小のＨＰもご覧ください。
http://yokkaichi.ed.jp/~hazukita/cms2/htdocs/

交通ルールを守りましょう

１年の中でも過ごしやすい季節になりました。それに伴い、学校外での子どもたちの様子について、たくさんの心配のお声を地域から学校にお寄せいただいています。

各ご家庭でご指導をお願いいたします。

○道路上で遊びません

「道路上で子どもたちが遊んでいる。」

「道路上でローラーブレードをしている危険なので注意したが、きいてくれない。」

こんなお電話をよくいただきます。

道路上での遊びは危険です。特に交通の頻繁な道路での遊びは「道路交通法 76 条」に違反する可能性があります。せっかくご注意いただいたにもかかわらず、すぐにやめることができなかったことも残念です。注意していただいたときに「あっしまった」「ごめんなさい」ってやめることができたらなぁ…と思います。

どの子にもきっとよく似た経験があることでしょう。

大事故になってからでは間に合いません。「心のブレーキ」が働いて、自らの行動を律することができるよう、何度も何度も繰り返し、いろんな場面で話していくことが大切だと思います。

○自転車で飛び出しません

「スーパーの駐車場から子どもが自転車で飛び出してきて、ぶつかりそうになった」

「自転車で坂道をものすごいスピードで走り下りてきて、ぶつかりそうになった」

自転車の飛び出しやスピードの出しすぎも、とても危険な行為です。

自動車にぶつかって自分自身が大けがを負う（なかには命に関わる）心配があると同時に、歩行者や別の自転車にぶつかって大けがをさせてしまう（中には命に関わる）恐れもあります。子どもだからと言って許されるものではありません。最近では場合によっては損害賠償を請求されることもあるようです。

自転車は子どもたちにとって便利な乗り物です。乗れるようになるとどんどんスピードも上がり運転も荒くなってしまいがちです。ヘルメットを着用させていただくと同時に、正しい自転車の乗り方や交通ルールをぜひご家庭でもご指導ください。